



北海道教育大学
保健管理センター
年報

VOL.
29
令和2年度

北海道教育大学
保健管理センター



HEALTH ADMINISTRATION CENTER
北海道教育大学保健管理センター



保健管理センター年報
VOL.29 / 令和2年度

北海道教育大学保健管理センター及び札幌分室

〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号

電話 (011) 778-0298

旭川分室

〒070-8621 旭川市北門町9丁目

電話 (0166) 59-1245

釧路分室

〒085-8580 釧路市城山1丁目15番55号

電話 (0154) 41-3259

函館分室

〒040-8567 函館市八幡町1番2号

電話 (0138) 44-4374

岩見沢分室

〒068-8642 岩見沢市緑が丘2丁目34番地の1

電話 (0126) 32-0235

北海道教育大学保健管理センター年報

第29号

— 令和2年度 —

令和3年11月30日発行

北海道教育大学保健管理センター

目 次

はじめに	1
I. 年間主要業務	2
II. 学生の健康診断および健康状態の概要	4
1. 検査結果の判定基準と事後措置および管理区分の設定	
2. 定期健康診断および臨時健康診断	
全 学	5
(1) 受診状況	
(2) 一次異常発見率	
(3) 新入・編入学生の血液検査	
(4) 事後措置および管理区分	
3. 各分室の受診状況、事後措置および管理区分	
札幌分室	8
旭川分室	10
釧路分室	12
函館分室	14
岩見沢分室	16
4. 特別聴講学生および研究生の健康診断	18
III. 学生の利用状況	
札幌分室	19
旭川分室	20
釧路分室	21
函館分室	22
岩見沢分室	23
IV. 職員の健康診断および利用状況	
1. 検査結果の判定基準と事後措置および管理区分の設定	24
2. 職員の健康診断	25
《事後措置および管理区分》	
《受診状況》	
全 学	26
札幌分室	26
旭川分室	27

釧路分室	27
函館分室	28
岩見沢分室	28
3. 職員の利用状況	29
V. メンタルヘルス調査	30
VI. カウンセリング実施状況	31
VII. 調査報告	
『本学における感染症対策の見直し』	34
VIII. 研究・教育・広報活動	37
1. 講演・講習会等	
2. 授業担当	
3. 研究発表	
4. 刊行物	
IX. 施設所在地	39
X. 保健管理センター関係者名簿	40
XI. 保健管理センター沿革・目的	42
XII. 関係規則	43
あ と が き	46

はじめに

保健管理センター長 羽 賀 将 衛

今年も新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振り続けています。昨年の今頃には、あと1年もすればパンデミックは収束に向かうという楽観的な見方をする人もいて、是非そうなってほしいものだと願っていましたが、より感染力が強い変異ウイルスであるデルタ株の出現・拡散により、その期待はむなしく夢と散ってしまいました。この原稿を書いている時点では、いわゆる第5波がようやく下向きになったところですが、いずれ第6波が必ずやって来ると多くの専門家が警鐘を鳴らしており、流行の収束にはまだ程遠い状況です。

日本を含めたいわゆる先進国では、ワクチン接種が多くの国民に実施されていますが、その一方で、アフリカの発展途上国では、国民全体の接種率が数パーセントにも満たない状況にあり、こんなところでも「格差」が大きな問題になっている現状をあらためて認識せざるを得ません。デルタ株対策のため、ワクチンを2回接種した人にブースター接種として3回目のワクチン接種が、すでに複数の国で始まっていますが、このために発展途上国へのワクチンの供給がますます滞るのではないかと心配されています。某大国の元大統領が自国第一主義を掲げ、内外から批判されていましたが、昨今の新型コロナワクチンをめぐる各国の姿勢を見ると、まさに自国第一主義であり、日本もそうした国の一つになる心配がありますが、自分自身がその恩恵を受けていることを考えると、何とも複雑な気持ちになります。

COVID-19は、さまざまな意味での「分断」をもたらしたと言われていています。上記の某大国を“the Divided States”と揶揄する言葉がありましたが、国と国との格差が拡大している昨今の世界はまさに“Divided Nations”であり、個々の国の内でもコロナ禍に起因して、世代間の対立や、ワクチン接種やマスク着用にからむ信条の対立により、人々の分断が起こっています。みな一致団結して事に当たらなければいけない状況であるにも拘らず、不寛容が世を覆っているのは実に憂えるべきことです。早くコロナ禍が収まり、“Divided”から“United”の世に戻り、人の心も本来の優しさを取り戻す日が来ることを願わずにいられません。

（令和3年9月末日 記）

I. 年間主要業務

月	保健管理センター・札幌分室	旭川分室
4月	保健管理センターのしおり発行	健康調査問診（メンタルヘルス）
5月		
6月		
7月		<p>健康調査問診（メンタルヘルス）</p> <p>学生定期健康診断学部2～3年生・大学院（胸部X線検査）</p> <p>職員定期健康診断（大学）（血圧測定・尿検査・胸部X線検査・胃検査・心電図検査・血液検査・便検査・身体計測）</p> <p>学生定期健康診断 学部2～4年生・大学院・研究生対象（胸部X線検査・尿検査）</p>
8月		<p>学生定期健康診断学部1年生・編入生・4年生（胸部X線検査・身体計測・血圧測定・視力検査・血液検査・心電図検査）</p> <p>職員定期健康診断（胸部X線検査・血液検査・尿検査・便検査・胃検査・心電図検査・血圧測定・身体計測・視力検査・聴力検査）・職員ストレスチェック</p> <p>職員定期健康診断（附属）（血圧測定・尿検査・胸部X線検査・胃検査・心電図検査・血液検査・便検査・身体計測）</p> <p>学生定期健康診断 学部1年生・編入生対象（胸部X線検査・身体計測・血圧測定・視力検査・血液検査・心電図検査・尿検査・内科健診）</p>
9月		
10月		<p>教員養成特別入試救護</p> <p>教員養成特別入試救護</p>
11月	<p>第58回全国大学保健管理研究集会（オンライン）参加</p> <p>保健管理センター年報（第28号）発行</p>	<p>学生定期健康診断（尿検査）</p> <p>第1回分室運営委員会開催（メール会議）</p> <p>推薦入試・編入学試験救護</p> <p>第58回全国大学保健管理研究集会（オンライン）参加</p> <p>推薦入試・編入学試験救護</p>
12月	北海道教育大学保健管理研究協議会Zoom開催	北海道教育大学保健管理研究協議会出席（ZOOM開催）
1月		<p>大学入学共通テスト試験救護</p> <p>大学入学共通テスト試験救護</p>
2月		<p>一般選抜（前期日程）救護</p> <p>一般選抜（前期日程）救護</p>
3月	第1回保健管理センター運営委員会開催	<p>一般選抜（後期日程）救護</p> <p>健康調査（次年度入学者）</p> <p>第1回分室運営委員会（メール会議）開催</p> <p>一般選抜（後期日程）救護</p> <p>健康調査（次年度入学者）</p>

月	釧路分室	函館分室	岩見沢分室
4月	健康調査問診（メンタルヘルス）	健康調査問診（メンタルヘルス） 学生定期健康診断4月～12月実施 学部2～3年生（胸部X線検査は実習参加者限定・尿検査・問診）、学部4年生・大学院2年生（胸部X線検査・身体計測・血圧測定・視力検査・尿検査・問診）、別科生（胸部X線検査・身体計測・血圧測定・視力検査・尿検査・心電図検査・問診）	健康調査問診（メンタルヘルス）
5月	第1回分室運営委員会開催		
6月	学生定期健康診断学部2～3年生（胸部X線検査・尿検査）	職員定期健康診断（胸部X線検査・血液検査・内科検診・心電図検査・胃検査・尿検査・便検査・身体計測・視力検査・聴力検査・血圧測定）	職員定期健康診断（胸部X線検査・血液検査・内科検診・心電図検査・胃検査・尿検査・便検査・身体計測・視力検査・聴力検査・血圧測定）
7月	職員定期健康診断（胸部X線検査・血液検査・内科検診・心電図検査・胃検査・尿検査・便検査・身体計測・視力検査・聴力検査・血圧測定）	職員定期健康診断（胸部X線検査・血液検査・内科検診・心電図検査・胃検査・尿検査・便検査・身体計測・視力検査・聴力検査・血圧測定） 大学法人試験救護	職員定期健康診断（胸部X線検査・血液検査・内科検診・心電図検査・胃検査・尿検査・便検査・身体計測・視力検査・聴力検査・血圧測定）
8月	職員定期健康診断（胸部X線検査・血液検査・内科検診・心電図検査・胃検査・尿検査・便検査・身体計測・視力検査・聴力検査・血圧測定） 学生定期健康診断 学部1年生・編入生対象（胸部X線検査・身体計測・血圧測定・視力検査・血液検査・心電図検査・尿検査）	職員定期健康診断（附属）（胸部X線検査・血液検査・内科検診・心電図検査・胃検査・尿検査・便検査・身体計測・視力検査・聴力検査・血圧測定）	実習参加者健康診断（胸部X線検査・尿検査）
9月	学生定期健康診断 学部4年生・院生（胸部X線検査・尿検査）	学生定期健康診断 学部1年生・編入生・大学院1年生（胸部X線検査・身体計測・血圧測定・視力検査・血液検査・心電図・尿検査・問診）健康調査問診（メンタルヘルス）	学生定期健康診断学部生・編入生・大学院生（胸部X線検査・身体計測・血圧測定・視力検査・血液検査・心電図検査・尿検査）
10月	教員養成特別入試救護	養護教諭特別別科推薦入試救護	
11月	第58回全国大学保健管理研究集会（オンライン）参加 推薦入試・編入学試験救護	第58回全国大学保健管理研究集会（オンライン）参加 推薦入試・編入学試験救護 帰国子女入試救護 大学院前期入試救護	推薦入試・編入学試験救護
12月	北海道教育大学保健管理研究協議会出席（ZOOM開催）	北海道教育大学保健管理研究協議会出席（ZOOM開催）	北海道教育大学保健管理研究協議会出席（ZOOM開催）
1月	大学入学共通テスト試験救護	大学入学共通テスト試験救護	大学入学共通テスト試験救護
2月	一般選抜（前期日程）救護	一般選抜（前期日程）救護 大学院後期入試救護 第1回分室運営委員会（メール会議）開催	一般選抜（前期日程）救護
3月	一般選抜（後期日程）救護 健康調査（次年度入学者）	一般選抜（後期日程）救護 健康調査（次年度入学者）	一般選抜（後期日程）救護 健康調査（次年度入学者） 第1回分室運営委員会（メール会議）開催

II. 学生の健康診断および健康状態の概要

1. 検査結果の判定基準と事後措置および管理区分の設定

下表の判定基準により一次健診の事後措置を決定し、一次健診結果および二次健診結果に基づき最終管理区分を決定した。判定基準の設定は、日本人間ドック学会による「人間ドック成績判定及び事後指導に関するガイドライン」を参考にした。

項 目			異常なし	経過観察	要受診／精密検査	
BMI			18.5-24.9	16.1-18.4／25.0-29.9	-16.0	30.0-
体脂肪率	男性		-30.0	30.1-34.9	35.0-	
	女性		-35.0	35.1-39.9	40.0-	
血 圧	収縮期	mmHg	-130	131-149	150-	
	拡張期	mmHg	-85	86-94	95-	
尿蛋白			(-)		*再検査(+)	
尿 糖			(-)		*再検査(+)	
尿潜血			(-)		*再検査(+)	
白血球数		/μl	3200-8500	2501-3199／8501-9999	-2500	10000-
赤血球数	男性	10 ⁴ /μl	400-539	360-399／540-579	-359	580-
	女性	10 ⁴ /μl	360-489	330-359／490-519	-329	520-
血色素量	男性	g/dl	13.1-16.6	12.0-13.0／16.7-17.9	-11.9	18.0-
	女性	g/dl	12.1-14.6	11.0-12.0／14.7-15.9	-10.9	16.0-
ヘマトクリット	男性	%	38.5-48.9	35.4-38.4／49.0-52.8	-35.3	52.9-
	女性	%	35.5-43.9	32.4-35.4／44.0-46.9	-32.3	47.0-
血清鉄		μg/dl	40-199	30-39／200-299	-29	300-
AST (GOT)		IU/l	-30	31-50	51-	
ALT (GPT)		IU/l	-30	31-50	51-	
γ-GTP		IU/l	-50	51-100	101-	
LDLコレステロール		mg/dl	60-119	120-139	140-	
HDLコレステロール		mg/dl	40-119	-39		
尿 酸		mg/dl	-7.0	7.1-8.9	9.0-	

※尿検査において、尿蛋白、尿糖、尿潜血のどれか1つでも陽性であった場合は、必ず再検査を行なう。

以前は、学校保健安全法施行規則第9条第2項（結核の有無の検査の結果に基づく措置）に準じた指導区分を用いていたが、平成21年度からは、下表の「一次検査結果に基づく事後措置」「一次検査結果および二次検査に基づいた最終管理区分」を用いている。

一次検査結果に基づく事後措置

異常なし	異常を認めないもの
要観察	異常を認めるが経過観察でよいもの（異常判定基準の「経過観察」に該当）
要再／精検	再検査あるいは精密検査を必要とするもの（異常判定基準の「要受診／精密検査」に該当）
治療中	治療中のもの

一次検査結果および二次検査に基づいた最終管理区分

異常なし	異常を認めないもの
要教育／観察	異常を認めるが経過観察でよいもの
要治療／治療中	医師による直接の医療行為を必要とするもの

2. 定期健康診断および臨時健康診断

【全 学】

(1) 受診状況

2020年度の学生定期健康診断は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、新入学生と4年生にはほぼ例年通りの検診項目を実施したが、2年生および3年生では、身体計測を行わず、問診、尿検査、胸部X線撮影のみとした。

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診	心電図検査	血液検査	
教 育 学 部	1 年	対象者数	1215	1215	1215	1215	1215	277	1215	1215
		受診者数	1185	1185	1184	1140	1184	265	1184	1185
		受診率%	97.5	97.5	97.4	93.8	97.4	95.7	97.4	97.5
		有所見者数	294		305	62	8	19	79	737
	2 年	対象者数	12	12	12	1228	944	4	12	12
		受診者数	12	12	12	1064	942	4	12	12
		受診率%	100.0	100.0	100.0	86.6	99.8	100.0	100.0	100.0
		有所見者数	3		1	43	6	0	1	7
	3 年	対象者数	2	2	2	1190	901		2	2
		受診者数	2	2	2	995	899		2	2
		受診率%	100.0	100.0	100.0	83.6	99.8		100.0	100.0
		有所見者数	0		1	46	11		0	1
	4 年	対象者数	812	812	812	1305	1305			
		受診者数	715	715	715	1131	1203			
		受診率%	88.1	88.1	88.1	86.7	92.2			
		有所見者数	178		165	60	13			
計	対象者数	2041	2041	2041	4938	4365	281	1229	1229	
	受診者数	1914	1914	1913	4330	4228	269	1198	1199	
	受診率%	93.8	93.8	93.7	87.7	96.9	95.7	97.5	97.6	
	有所見者数	475		472	211	38	19	80	745	
大 学 院	1 年	対象者数	47	47	47	81	81			
		受診者数	40	40	40	59	70			
		受診率%	85.1	85.1	85.1	72.8	86.4			
		有所見者数	11		10	2	1			
	2 年	対象者数	4	4	4	75	54			
		受診者数	3	3	3	48	41			
		受診率%	75.0	75.0	75.0	64.0	75.9			
		有所見者数	0		1	1	0			
	計	対象者数	51	51	51	156	135			
		受診者数	43	43	43	107	111			
		受診率%	84.3	84.3	84.3	68.6	82.2			
		有所見者数	11		11	3	1			
別 科 等	対象者数	35	35	35	35	35		35		
	受診者数	35	35	35	34	35		35		
	受診率%	100.0	100.0	100.0	97.1	100.0		100.0		
	有所見者数	10		2	3	0		2		

※「受診対象者」は、在籍者から休学・留学等を除いたものとした。

※有所見者数は、一次検査有所見者の実人数である。

(2) 一次異常発見率

身体計測において、BMI 30以上の高度肥満者は、1年生1.8%、4年生2.1%、一方、BMI 16以下の「やせ」の者は、1年生0.8%、4年生1.1%に認められ、いずれもほぼ例年通りであった。

その他、各検診項目における一次異常発見率を、下の表に示す。

定期健康診断の一次異常発見率

検 査	異常発見率	主な異常の内訳
尿	5.10%	尿蛋白2.0%、尿潜血2.9%、尿糖0.2%（蛋白と潜血の重複あり）
胸部X線撮影	0.3%	肺のう胞4名、肺野異常陰影3名、シルエット不明瞭2名、陳旧性胸膜病変22名、脊柱側弯4名、横隔膜ヘルニア1名、右奇静脈葉1名、その他3名
心電図 (新・編入学生のみ)	9.2%	不整脈17名、伝導障害29名、頻脈26名、徐脈15名、PR短縮5名、心筋傷害疑い3名、軸偏位4名、WPW症候群2名、心肥大2名、その他3名
血液検査 (新・編入学生のみ)		高LDLコレステロール88名、GOT高値11名、GPT高値42名、 γ -GTP高値6名、尿酸高値5名、血色素量低値13名、ヘマトクリット低値3名、血清鉄低値45名
血 圧	24.6%	高血圧域24.6%

(3) 新入・編入学生の血液検査

新入学生および編入学生には、血液検査を実施している。

事後措置で「要再検査／精密検査」の対象になった者は、例年と同様に高LDLコレステロールが最も多く、88名（7.5%）に認められた。このうち14名はBMI 25以上の肥満を伴っていたが、6名（5名が女子）はBMI 18.5未満のむしろ「やせ」であり、中年期以降の生活習慣病の脂質異常とは異なる要因もあることがわかった。その他、例年と同様に、GOT高値11名（0.9%）、GPT高値42名（3.6%）、 γ -GTP高値6名（0.5%）、尿酸高値5名（0.4%）、血色素量低値13名（1.1%）、ヘマトクリット低値3名（0.3%）、血清鉄低値45名（3.9%）などが要再／精検の対象となった。

(4) 事後措置および管理区分

最終管理区分が「要治療／治療中」となった者はのべ46名で、貧血（5）、腎臓疾患（8）、糖尿病（3）、甲状腺疾患（2）、脂質異常（4）、肝機能障害（2）などであった。

また、「要再検査／精密検査」の対象になりながら、年度内に再検査／精密検査を受けなかった例が107件あった。こうした例は毎年、少なからず認められ、健康診断における課題の一つである。

1) 一次検査結果に基づく事後措置

区 分	異常なし	要観察	要再/精検	治療中	計
実 数	3313	960	459	22	4754
割 合(%)	69.7	20.2	9.7	0.5	

2) 一次・二次検査結果に基づく二次管理区分

疾 病		要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
やせ		311	0	4	315
肥満		168	2	11	181
循環器系	高血圧	481	1	4	486
	虚血性心疾患	4	0	0	4
	不整脈	35	0	2	37
	循環器系その他	57	0	2	59
呼吸器系	慢性閉塞性肺疾患	0	0	0	0
	喘息	0	0	0	0
	呼吸器系その他	31	0	1	32
消化器系	肝疾患	98	2	15	115
	胆嚢・胆道疾患	0	0	0	0
	胃・十二指腸疾患	0	0	0	0
	大腸疾患	0	0	0	0
	脾疾患	0	0	0	0
	消化器系その他	1	0	0	1
内分泌・代謝	脂質異常	281	4	15	300
	糖尿病・耐糖能異常	0	3	3	6
	甲状腺疾患	1	2	0	3
	高尿酸血症	98	1	2	101
	内分泌・代謝その他	0	0	0	0
腎・泌尿器系		116	7	34	157
血液系	貧血	83	5	4	92
	白血球異常	98	0	3	101
	血液系その他	308	0	4	312
感覚器	眼疾患	0	2	0	2
	耳疾患	0	1	0	1
筋・骨格系		4	0	0	4
皮膚疾患		0	6	0	6
その他		0	7	0	7
のべ人数(縦計)		2175	43	104	2322

3) 最終管理区分

区 分	異常なし	要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
実 数	3371	1254	38	91	4754
割 合(%)	70.9	26.4	0.8	1.9	

3. 各分室の受診状況、事後措置および管理区分

【札幌分室】

(1) 受診状況

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診	心電図検査	血液検査	
教 育 学 部	1 年	対象者数	280	280	280	280		280	280	
		受診者数	280	280	280	245		280	280	280
		受診率%	100.0	100.0	100	87.5		100.0	100.0	100.0
		有所見者数	71		63	25		6	36	177
	2 年	対象者数				281	281			
		受診者数				225	281			
		受診率%				80.1	100.0			
		有所見者数				17	2			
	3 年	対象者数	1	1	1	261	261		1	1
		受診者数	1	1	1	191	259		1	1
		受診率%	100.0	100.0	100.0	73.2	99.2		100.0	100.0
		有所見者数	0		0	21	10		0	0
4 年	対象者数	299	299	299	299	299				
	受診者数	277	277	277	229	278				
	受診率%	92.6	92.6	92.6	76.6	93.0				
	有所見者数	77		84	17	9				
計	対象者数	580	580	580	1121	1121		281	281	
	受診者数	558	558	558	890	1098		281	281	
	受診率%	96.2	96.2	96.2	79.4	97.9		100.0	100.0	
	有所見者数	148		147	80	27		36	177	
大 学 院	1 年	対象者数	25	25	25	25	25			
		受診者数	23	23	23	13	23			
		受診率%	92.0	92.0	92	52.0	92.0			
		有所見者数	6		7	0	0			
	2 年	対象者数				25	25			
		受診者数				17	15			
		受診率%				68.0	60.0			
		有所見者数				1	0			
	計	対象者数	25	25	25	50	50			
		受診者数	23	23	23	30	38			
		受診率%	92.0	92.0	92.0	60.0	76.0			
		有所見者数	6		7	1	0			

※「受診対象者」は、在籍者から休学・留学等を除いたものとした。

※有所見者数は、一次検査有所見者の実人数である。

(2) 事後措置および管理区分

1) 一次検査結果に基づく事後措置

区 分	異常なし	要観察	要再/精検	治療中	計
実 数	712	289	136	2	1139
割 合(%)	62.5	25.4	11.9	0.2	

2) 一次・二次検査結果に基づく二次管理区分

疾 病		要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
やせ		96	0	0	96
肥満		57	1	1	59
循環器系	高血圧	151	1	2	154
	虚血性心疾患	0	0	0	0
	不整脈	5	0	0	5
	循環器系その他	16	0	0	16
呼吸器系	慢性閉塞性肺疾患	0	0	0	0
	喘息	0	0	0	0
	呼吸器系その他	21	0	1	22
消化器系	肝疾患	17	0	2	19
	胆嚢・胆道疾患	0	0	0	0
	胃・十二指腸疾患	0	0	0	0
	大腸疾患	0	0	0	0
	脾疾患	0	0	0	0
	消化器系その他	0	0	0	0
内分泌・代謝	脂質異常	54	0	2	56
	糖尿病・耐糖能異常	0	1	0	1
	甲状腺疾患	0	0	0	0
	高尿酸血症	26	0	1	27
	内分泌・代謝その他	0	0	0	0
腎・泌尿器系		71	1	6	78
血液系	貧血	16	1	0	17
	白血球異常	39	0	0	39
	血液系その他	38	0	0	38
感覚器	眼疾患	0	0	0	0
	耳疾患	0	0	0	0
筋・骨格系		4	0	0	4
皮膚疾患		0	0	0	0
その他		0	0	0	0
のべ人数(縦計)		611	5	15	631

3) 最終管理区分

区 分	異常なし	要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
実 数	732	388	5	14	1139
割 合(%)	64.3	34.1	0.4	1.2	

【旭川分室】

(1) 受診状況

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診	心電図検査	血液検査	
教育学部	1年	対象者数	277	277	277	277	277	277	277	
		受診者数	265	265	265	261	265	265	265	
		受診率%	95.7	95.7	95.7	94.2	95.7	95.7	95.7	
		有所見者数	69		95	9	1	19	5	174
	2年	対象者数	4	4	4	287	287	4	4	4
		受診者数	4	4	4	279	285	4	4	4
		受診率%	100.0	100.0	100.0	97.2	99.3	100.0	100.0	100.0
		有所見者数	1		1	6	0	0	0	2
	3年	対象者数				278	278			
		受診者数				268	278			
		受診率%				96.4	100.0			
		有所見者数				11	0			
	4年	対象者数				310	310			
		受診者数				296	303			
		受診率%				95.5	97.7			
		有所見者数				5	2			
計	対象者数	281	281	281	1152	1152	281	281	281	
	受診者数	269	269	269	1104	1131	269	269	269	
	受診率%	95.7	95.7	95.7	95.8	98.2	95.7	95.7	95.7	
	有所見者数	70		96	31	3	19	5	176	
大学院	1年	対象者数				23	23			
		受診者数				19	20			
		受診率%				82.6	87.0			
		有所見者数				0	0			
	2年	対象者数				22	22			
		受診者数				19	20			
		受診率%				86.4	90.9			
		有所見者数				0	0			
	計	対象者数				45	45			
		受診者数				38	40			
		受診率%				84.4	88.9			
		有所見者数				0	0			

※「受診対象者」は、在籍者から休学・留学等を除いたものとした。

※有所見者数は、一次検査有所見者の実人数である。

(2) 事後措置および管理区分

1) 一次検査結果に基づく事後措置

区 分	異常なし	要観察	要再/精検	治療中	計
実 数	925	155	71	20	1171
割 合(%)	79.0	13.2	6.1	1.7	

2) 一次・二次検査結果に基づく二次管理区分

疾 病		要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
やせ		48	0	0	48
肥満		20	0	1	21
循環器系	高血圧	96	0	0	96
	虚血性心疾患	0	0	0	0
	不整脈	1	0	0	1
	循環器系その他	3	0	0	3
呼吸器系	慢性閉塞性肺疾患	0	0	0	0
	喘息	0	0	0	0
	呼吸器系その他	3	0	0	3
消化器系	肝疾患	23	0	2	25
	胆嚢・胆道疾患	0	0	0	0
	胃・十二指腸疾患	0	0	0	0
	大腸疾患	0	0	0	0
	脾疾患	0	0	0	0
	消化器系その他	0	0	0	0
内分泌・代謝	脂質異常	70	0	4	74
	糖尿病・耐糖能異常	0	2	0	2
	甲状腺疾患	0	2	0	2
	高尿酸血症	30	1	0	31
	内分泌・代謝その他	0	0	0	0
腎・泌尿器系		0	4	10	14
血液系	貧血	15	2	0	17
	白血球異常	14	0	3	17
	血液系その他	102	0	0	102
感覚器	眼疾患	0	2	0	2
	耳疾患	0	1	0	1
筋・骨格系		0	0	0	0
皮膚疾患		0	6	0	6
その他		0	7	0	7
のべ人数(縦計)		425	27	20	472

3) 最終管理区分

区 分	異常なし	要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
実 数	938	192	24	17	1171
割 合(%)	80.1	16.4	2.0	1.5	

【釧路分室】

(1) 受診状況

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診	心電図検査	血液検査	
教 育 学 部	1 年	対象者数	185	185	185	185		185	185	
		受診者数	185	185	185	185		185		
		受診率%	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		
		有所見者数	40		29	13		0	0	117
	2 年	対象者数	1	1	1	181	181		1	1
		受診者数	1	1	1	181	181		1	1
		受診率%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0
		有所見者数	0		0	9	0		0	1
	3 年	対象者数	1	1	1	188	188		1	1
		受診者数	1	1	1	188	188		1	1
		受診率%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0
		有所見者数	0		1	8	0		0	1
4 年	対象者数				183	183				
	受診者数				183	183				
	受診率%				100.0	100.0				
	有所見者数				8	0				
計	対象者数	187	187	187	737	737		187	187	
	受診者数	187	187	187	737	737		187	187	
	受診率%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	
	有所見者数	40		30	38	0		0	119	
大 学 院	1 年	対象者数				11	11			
		受診者数				10	10			
		受診率%				90.9	90.9			
		有所見者数				0	0			
	2 年	対象者数				3	3			
		受診者数				3	3			
		受診率%				100.0	100.0			
		有所見者数				0	0			
	計	対象者数				14	14			
		受診者数				13	13			
		受診率%				92.9	92.9			
		有所見者数				0	0			

※「受診対象者」は、在籍者から休学・留学等を除いたものとした。

※有所見者数は、一次検査有所見者の実人数である。

(2) 事後措置および管理区分

1) 一次検査結果に基づく事後措置

区 分	異常なし	要観察	要再/精検	治療中	計
実 数	575	104	71	0	750
割 合(%)	76.6	13.9	9.5	0.0	

2) 一次・二次検査結果に基づく二次管理区分

疾 病		要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
やせ		20	0	0	20
肥満		17	0	3	20
循環器系	高血圧	28	0	0	28
	虚血性心疾患	3	0	0	3
	不整脈	7	0	0	7
	循環器系その他	17	0	0	17
呼吸器系	慢性閉塞性肺疾患	0	0	0	0
	喘息	0	0	0	0
	呼吸器系その他	0	0	0	0
消化器系	肝疾患	11	2	3	16
	胆嚢・胆道疾患	0	0	0	0
	胃・十二指腸疾患	0	0	0	0
	大腸疾患	0	0	0	0
	脾疾患	0	0	0	0
	消化器系その他	1	0	0	1
内分泌・代謝	脂質異常	26	4	1	31
	糖尿病・耐糖能異常	0	0	1	1
	甲状腺疾患	0	0	0	0
	高尿酸血症	14	0	1	15
	内分泌・代謝その他	0	0	0	0
腎・泌尿器系		33	0	1	34
血液系	貧血	11	0	1	12
	白血球異常	10	0	0	10
	血液系その他	75	0	4	79
感覚器	眼疾患	0	0	0	0
	耳疾患	0	0	0	0
筋・骨格系		0	0	0	0
皮膚疾患		0	0	0	0
その他		0	0	0	0
のべ人数(縦計)		273	6	15	294

3) 最終管理区分

区 分	異常なし	要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
実 数	578	159	4	9	750
割 合(%)	77.1	21.2	0.5	1.2	

【函館分室】

(1) 受診状況

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診	心電図検査	血液検査	
教 育 学 部	1 年	対象者数	287	287	287	287		287	287	
		受診者数	270	270	269	269		270	270	
		受診率%	94.1	94.1	93.7	93.7		94.1	94.1	
		有所見者数	79		84	10		0	22	149
	2 年	対象者数	5	5	5	290	114		5	5
		受診者数	5	5	5	205	114		5	5
		受診率%	100.0	100.0	100.0	70.7	100.0		100.0	100.0
		有所見者数	1		0	6	0		1	3
	3 年	対象者数				279	97			
		受診者数				183	97			
		受診率%				65.6	100.0			
		有所見者数				1	0			
4 年	対象者数	323	323	323	323	323				
	受診者数	260	260	260	249	260				
	受診率%	80.5	80.5	80.5	77.1	80.5				
	有所見者数	64		58	21	0				
計	対象者数	615	615	615	1179	821		292	292	
	受診者数	535	535	534	906	741		275	275	
	受診率%	87.0	87.0	86.8	76.8	90.3		94.2	94.2	
	有所見者数	144		142	38	0		23	152	
大 学 院	1 年	対象者数	5	5	5	5	5			
		受診者数	5	5	5	5	5			
		受診率%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
		有所見者数	1		1	1	0			
	2 年	対象者数	4	4	4	4	4			
		受診者数	3	3	3	3	3			
		受診率%	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0			
		有所見者数	0		1	0	0			
	計	対象者数	9	9	9	9	9			
		受診者数	8	8	8	8	8			
		受診率%	88.9	88.9	88.9	88.9	88.9			
		有所見者数	1		2	1	0			
別 科 等	対象者数	35	35	35	35	35		35		
	受診者数	35	35	35	34	35		35		
	受診率%	100.0	100.0	100.0	97.1	100.0		100.0		
	有所見者数	10		2	3	0		2		

※「受診対象者」は、在籍者から休学・留学等を除いたものとした。

※有所見者数は、一次検査有所見者の実人数である。

〈臨時健康診断〉

	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	計
受診者数(人)	0	0	2	0	2

(2) 事後措置および管理区分

1) 一次検査結果に基づく事後措置

区 分	異常なし	要観察	要再/精検	治療中	計
実 数	612	248	110	0	970
割 合(%)	63.1	25.6	11.3	0.0	

2) 一次・二次検査結果に基づく二次管理区分

疾 病		要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
やせ		96	0	4	100
肥満		50	0	5	55
循環器系	高血圧	143	0	1	144
	虚血性心疾患	1	0	0	1
	不整脈	22	0	2	24
	循環器系その他	0	0	0	0
呼吸器系	慢性閉塞性肺疾患	0	0	0	0
	喘息	0	0	0	0
	呼吸器系その他	0	0	0	0
消化器系	肝疾患	19	0	7	26
	胆嚢・胆道疾患	0	0	0	0
	胃・十二指腸疾患	0	0	0	0
	大腸疾患	0	0	0	0
	脾疾患	0	0	0	0
	消化器系その他	0	0	0	0
内分泌・代謝	脂質異常	77	0	7	84
	糖尿病・耐糖能異常	0	0	2	2
	甲状腺疾患	0	0	0	0
	高尿酸血症	17	0	0	17
	内分泌・代謝その他	0	0	0	0
腎・泌尿器系		1	1	12	14
血液系	貧血	19	1	3	23
	白血球異常	22	0	0	22
	血液系その他	43	0	0	43
感覚器	眼疾患	0	0	0	0
	耳疾患	0	0	0	0
筋・骨格系		0	0	0	0
皮膚疾患		0	0	0	0
その他		0	0	0	0
のべ人数(縦計)		510	2	43	555

3) 最終管理区分

区 分	異常なし	要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
実 数	627	299	2	42	970
割 合(%)	64.6	30.8	0.2	4.3	

【岩見沢分室】

(1) 受診状況

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診	心電図検査	血液検査	
教 育 学 部	1 年	対象者数	186	186	186	186		186	186	
		受診者数	185	185	185	180		184	184	185
		受診率%	99.5	99.5	99.5	96.8		98.9	98.9	99.5
		有所見者数	35		34	5		1	16	120
	2 年	対象者数	2	2	2	189	81		2	2
		受診者数	2	2	2	174	81		2	2
		受診率%	100.0	100.0	100.0	92.1	100.0		100.0	100.0
		有所見者数	1		0	5	4		0	1
	3 年	対象者数				184	77			
		受診者数				165	77			
		受診率%				89.7	100.0			
		有所見者数				5	1			
	4 年	対象者数	190	190	190	190	190			
		受診者数	178	178	178	174	179			
		受診率%	93.7	93.7	93.7	91.6	94.2			
		有所見者数	37		23	9	2			
計	対象者数	378	378	378	749	534		188	188	
	受診者数	365	365	365	693	521		186	187	
	受診率%	96.6	96.6	96.6	92.5	97.6		98.9	99.5	
	有所見者数	73		57	24	8		16	121	
大 学 院	1 年	対象者数	17	17	17	17	17			
		受診者数	12	12	12	12	12			
		受診率%	70.6	70.6	70.6	70.6	70.6			
		有所見者数	4		2	1	1			
	2 年	対象者数				21				
		受診者数				6				
		受診率%				28.6				
		有所見者数				0				
	計	対象者数	17	17	17	38	17			
		受診者数	12	12	12	18	12			
		受診率%	70.6	70.6	70.6	47.4	70.6			
		有所見者数	4		2	1	1			

※「受診対象者」は、在籍者から休学・留学等を除いたものとした。

※有所見者数は、一次検査有所見者の実人数である。

(2) 事後措置および管理区分

1) 一次検査結果に基づく事後措置

区 分	異常なし	要観察	要再/精検	治療中	計
実 数	489	164	71	0	724
割 合(%)	67.5	22.7	9.8	0.0	

2) 一次・二次検査結果に基づく二次管理区分

疾 病		要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
やせ		51	0	0	51
肥満		24	1	1	26
循環器系	高血圧	63	0	1	64
	虚血性心疾患	0	0	0	0
	不整脈	0	0	0	0
	循環器系その他	21	0	2	23
呼吸器系	慢性閉塞性肺疾患	0	0	0	0
	喘息	0	0	0	0
	呼吸器系その他	7	0	0	7
消化器系	肝疾患	28	0	1	29
	胆嚢・胆道疾患	0	0	0	0
	胃・十二指腸疾患	0	0	0	0
	大腸疾患	0	0	0	0
	脾疾患	0	0	0	0
	消化器系その他	0	0	0	0
内分泌・代謝	脂質異常	54	0	1	55
	糖尿病・耐糖能異常	0	0	0	0
	甲状腺疾患	1	0	0	1
	高尿酸血症	11	0	0	11
	内分泌・代謝その他	0	0	0	0
腎・泌尿器系		11	1	5	17
血液系	貧血	22	1	0	23
	白血球異常	13	0	0	13
	血液系その他	50	0	0	50
感覚器	眼疾患	0	0	0	0
	耳疾患	0	0	0	0
筋・骨格系		0	0	0	0
皮膚疾患		0	0	0	0
その他		0	0	0	0
のべ人数(縦計)		356	3	11	370

3) 最終管理区分

区 分	異常なし	要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
実 数	496	216	3	9	724
割 合(%)	68.5	29.8	0.4	1.2	

4. 特別聴講学生および研究生の健康診断

特別聴講学生および研究生は主に外国人留学生であるが、平成24年度から、学部生と同様の健康診断を実施している。

【札幌分室】

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診
特別聴講学生	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						
研究生	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						
計	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						

【旭川分室】

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診
特別聴講学生	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						
研究生	対象者数				3	3	
	受診者数				3	3	
	受診率%				100.0	100.0	
計	対象者数				3	3	
	受診者数				3	3	
	受診率%				100.0	100.0	

【釧路分室】

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診
特別聴講学生	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						
研究生	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						
計	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						

【函館分室】

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診
特別聴講学生	対象者数	2	2	2	2	2	
	受診者数	0	0	0	0	0	
	受診率%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
研究生	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						
計	対象者数	2	2	2	2	2	
	受診者数	0	0	0	0	0	
	受診率%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【岩見沢分室】

		身体計測	視力検査	血圧測定	尿検査	胸部X線検査	問視打聴診
特別聴講学生	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						
研究生	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						
計	対象者数						
	受診者数						
	受診率%						

Ⅲ. 学生の利用状況

【札幌分室】

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
内科系	呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消化器系	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血液系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器系	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	神経系	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外科系	切創・擦過創等	1	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	
	捻挫・つき指	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	筋肉痛・関節痛等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	骨折・脱臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	火傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他の患	皮膚科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦人科	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	精神科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康診断	事後措置	13	12	0	2	0	3	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	
健康相談	医療相談(医師)	5	13	7	3	5	4	12	2	2	0	0	2	0	0	0	1	31	25	
	医療相談(看護師)	26	62	30	36	33	58	48	40	9	0	5	2	0	0	0	0	151	198	
検 査	血圧測定	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	
	身長・体重測定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	視力・聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	尿検査	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	計	46	96	38	41	39	67	74	51	12	0	5	4	0	0	0	1	214	260	

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
相談・観察		39	70	32	38	37	65	63	45	10	0	3	3	0	0	0	1	184	222
応急措置(投薬、外傷処置等)		1	10	1	0	1	2	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	16
他機関紹介		1	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2
情報提供		5	14	5	3	0	0	8	2	1	0	2	1	0	0	0	0	21	20
計		46	96	38	41	39	67	74	51	12	0	5	4	0	0	0	1	214	260

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
健康診断書	発行人数	0	1	1	0	1	0	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9	3
	発行枚数	0	1	3	0	1	0	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	20	3
感染症欠席届人数		2	7	5	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	9

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ベッド利用	ベッド休養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベッド休養(診察を伴うもの)	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

【旭川分室】

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
内科系	呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	消化器系	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1
	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血液系	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	泌尿器系	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	神経系	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科系	切創・擦過創等	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	捻挫・つき指	5	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2
	打撲	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	筋肉痛・関節痛等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	骨折・脱臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	火傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他の患	皮膚科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼科	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康診断	事後措置	14	15	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	15
健康相談	医療相談(医師)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	医療相談(看護師)	52	102	25	31	27	28	61	61	12	5	5	5	0	0	0	0	182	232	
検 査	血圧測定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身長・体重測定	0	0	0	0	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2
	視力・聴力	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	尿検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	その他	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1
計		74	121	28	34	32	33	69	65	12	5	6	5	0	0	1	0	222	263	

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
相談・観察		56	107	25	32	29	29	63	62	12	5	6	5	0	0	0	0	191	240	
応急措置(投薬、外傷処置等)		6	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1
他機関紹介		12	14	1	2	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	15	20	
情報提供		0	0	0	0	2	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	
計		74	121	28	34	32	33	69	65	12	5	6	5	0	0	1	0	222	263	

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
健康診断書	発行人数	0	4	0	0	0	0	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11
	発行枚数	0	4	0	0	0	0	18	7	0	0	0	0	0	0	0	0	18	11
感染症欠席届人数		7	8	4	4	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ベッド利用	ベッド休養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベッド休養(診察を伴うもの)	1	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4

【釧路分室】

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
内科系	呼吸器系	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	消化器系	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血液系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神経系	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	その他	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
外科系	切創・擦過創等	4	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3
	捻挫・つき指	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	筋肉痛・関節痛等	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	骨折・脱臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	火傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の患	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	耳鼻科	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	婦人科	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康診断	事後措置	20	24	0	9	1	7	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	21	48	
健康相談	医療相談(医師)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	医療相談(看護師)	68	37	22	15	25	15	51	52	2	2	1	0	0	0	0	0	169	121	
検 査	血圧測定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	身長・体重測定	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
	視力・聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	尿検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	その他	7	8	4	5	8	9	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	31	29	
計		102	72	28	32	38	33	65	69	3	3	1	0	0	0	0	0	237	209	

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
相談・観察		72	49	13	21	22	17	24	32	2	2	1	0	0	0	0	0	134	121
応急措置(投薬、外傷処置等)		5	1	1	1	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	5
他機関紹介		17	12	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	14
情報提供		8	10	12	8	15	15	38	35	1	1	0	0	0	0	0	0	74	69
計		102	72	28	32	38	33	65	69	3	3	1	0	0	0	0	0	237	209

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
健康診断書	発行人数	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	発行枚数	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
感染症欠席届人数		0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ベッド利用	ベッド休養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベッド休養(診察を伴うもの)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【函館分室】

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
内科系	呼吸器系	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	消化器系	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血液系	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	泌尿器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神経系	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
外科系	切創・擦過創等	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
	捻挫・つき指	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	筋肉痛・関節痛等	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	骨折・脱臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	火傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の患	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	眼科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	婦人科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
健康診断	事後措置	24	40	0	7	0	2	12	11	0	1	0	0	0	4	0	0	36	65	
健康相談	医療相談(医師)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医療相談(看護師)	45	59	6	43	6	39	38	123	0	1	0	0	0	14	0	0	95	279	
検 査	血圧測定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	身長・体重測定	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	視力・聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	尿検査	0	2	2	13	2	8	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	4	32	
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	その他	0	1	2	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	
計		71	108	10	65	9	50	50	152	0	2	0	0	0	21	0	0	140	398	

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
相談・観察		71	106	10	64	9	50	50	149	0	2	0	0	0	20	0	0	140	391
応急措置(投薬、外傷処置等)		0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
他機関紹介		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
情報提供		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計		71	108	10	65	9	50	50	152	0	2	0	0	0	21	0	0	140	398

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
健康診断書	発行人数	0	0	0	0	0	2	9	34	0	0	0	0	0	2	0	0	9	38
	発行枚数	0	0	0	0	0	2	9	40	0	0	0	0	0	2	0	0	9	44
感染症欠席届人数		0	4	3	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	6	14

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ベッド利用	ベッド休養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベッド休養(診察を伴うもの)	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

【岩見沢分室】

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
内科系	呼吸器系	0	0	0	2	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3
	消化器系	0	0	0	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血液系	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	泌尿器系	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	神経系	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	その他	1	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
外科系	切創・擦過創等	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
	捻挫・つき指	0	1	2	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7
	打撲	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	筋肉痛・関節痛等	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	骨折・脱臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	火傷	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他の患	皮膚科	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	耳鼻科	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	婦人科	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	精神科	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康診断	事後措置	11	18	0	1	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	12	24	
健康相談	医療相談(医師)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医療相談(看護師)	10	18	5	16	21	22	6	36	1	5	2	0	0	0	0	2	45	99	
検 査	血圧測定	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	身長・体重測定	0	0	5	1	2	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3	
	視力・聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	尿検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
その他	その他	0	2	1	0	5	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5	
計		26	42	17	32	38	38	18	53	2	6	2	0	0	0	0	2	103	173	

区 分		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
相談・観察		23	39	14	25	36	34	15	53	1	6	2	0	0	0	0	2	91	159
応急措置(投薬、外傷処置等)		2	3	3	6	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	11
他機関紹介		1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1
情報提供		0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計		26	42	17	32	38	38	18	53	2	6	2	0	0	0	0	2	103	173

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
健康診断書	発行人数	0	0	0	0	2	1	6	17	0	1	0	1	0	0	0	0	8	20
	発行枚数	0	0	5	16	2	1	12	29	0	1	0	3	0	0	0	0	19	50
感染症欠席届人数		0	1	2	4	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6

		学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		別 科		聴講生・研究生		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ベッド利用	ベッド休養	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	ベッド休養(診察を伴うもの)	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3

IV. 職員の健康診断および利用状況

1. 検査結果の判定基準と事後措置および管理区分の設定

下表の判定基準により一次健診の事後措置を決定し、一次健診結果および二次健診結果に基づき最終管理区分を決定した。判定基準の設定は、日本人間ドック学会による「人間ドック成績判定及び事後指導に関するガイドライン」を参考にした。

異常判定基準（職員）

項 目			異常なし	経過観察	要受診／精密検査
BMI			18.5-24.9	16.1-18.4／25.0-29.9	-16.0 30.0-
体脂肪率	男性		-30.0	30.1-34.9	35.0-
	女性		-35.0	35.1-39.9	40.0-
血 圧	収縮期	mmHg	-130	131-149	150-
	拡張期	mmHg	-85	86-94	95-
腹 囲	男性	cm	<85.0		85.0-
	女性	cm	<90.0		90.0-
聴 力	1000Hz	30dB	聴取可能		聴取不能
	4000Hz	40dB	聴取可能		聴取不能
尿蛋白			(-)		*再検査(+)
尿 糖			(-)		*再検査(+)
尿潜血			(-)		*再検査(+)
便潜血	1回目		(-)		
	2回目		(-)		
白血球数		/μl	3200-8500	2501-3199／8501-9999	-2500 10000-
血小板		10 ⁴ /μl	13.0-34.9	10.0-12.9／35.0-39.9	-9.9 40-
赤血球数	男性	10 ⁴ /μl	400-539	360-399／540-579	-359 580-
	女性	10 ⁴ /μl	360-489	330-359／490-519	-329 520-
血色素量	男性	g/dl	13.1-16.6	12.0-13.0／16.7-17.9	-11.9 18.0-
	女性	g/dl	12.1-14.6	11.0-12.0／14.7-15.9	-10.9 16.0-
ヘマトクリット	男性	%	38.5-48.9	35.4-38.4／49.0-52.8	-35.3 52.9-
	女性	%	35.5-43.9	32.4-35.4／44.0-46.9	-32.3 47.0-
血清鉄		μg/dl	40-199	30-39／200-299	-29 300-
総たんぱく					
アルブミン					
AST(GOT)		IU/l	-30	31-50	51-
ALT(GPT)		IU/l	-30	31-50	51-
γ-GTP		IU/l	-50	51-100	101-
LDLコレステロール		mg/dl	60-119	120-139	140-
HDLコレステロール		mg/dl	40-119	-39	
中性脂肪		mg/dl	30-149		150-
クレアチニン	男性	mg/dl	-1.0	1.1-1.2	1.3-
	女性	mg/dl	-0.7	0.8-0.9	1.0-
尿 酸		mg/dl	-7.0	7.1-8.9	9.0-
空腹時血糖		mg/dl	<100	100-109	110
HbA1c		%	<5.6	5.6-5.9	6.0-
HBs抗原			陰性		陽性
HCV抗体			陰性		陽性

※尿検査において、尿蛋白、尿糖、尿潜血のどれか1つでも陽性であった場合は、必ず再検査を行なう。

再検査で陽性の場合は、要受診／精密検査とする。

再検査で陰性の場合は、経過観察とする。

一次検査結果に基づく事後措置

異常なし	異常を認めないもの
要観察	異常を認めるが経過観察でよいもの（異常判定基準の「経過観察」に該当）
要再/精検	再検査あるいは精密検査を必要とするもの（異常判定基準の「要受診/精密検査」に該当）
治療中	治療中のもの

最終管理区分

異常なし	異常を認めないもの
要教育/観察	異常を認めるが経過観察でよいもの
要治療/治療中	医師による直接の医療行為を必要とするもの

2. 職員の健康診断

《事後措置および管理区分》

1) 一次検査結果に基づく事後措置

区 分	異常なし	要観察	要再/精検	治療中	計
実 数	129	221	374	195	919
割 合(%)	14.0	24.0	40.8	21.2	

2) 一次・二次検査結果に基づく二次管理区分

疾 病		要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
やせ		45	0	0	45
肥満		345	6	2	353
循環器系	高血圧	206	71	22	299
	虚血性心疾患	5	0	4	9
	不整脈	43	8	1	52
	循環器系その他	85	4	6	95
呼吸器系	慢性閉塞性肺疾患	1	2	0	3
	喘息	1	1	0	2
	呼吸器系その他	23	5	4	32
消化器系	肝疾患	280	10	45	335
	胆嚢・胆道疾患	42	1	0	43
	胃・十二指腸疾患	153	10	18	181
	大腸疾患	12	7	29	48
	脾疾患	3	0	0	3
	消化器系その他	17	0	0	17
内分泌・代謝	脂質異常	323	76	85	484
	糖尿病・耐糖能異常	211	44	38	293
	甲状腺疾患	3	4	0	7
	高尿酸血症	94	18	4	116
	内分泌・代謝その他	1	0	0	1
腎・泌尿器系		110	2	18	130
血液系	貧血	26	5	7	38
	白血球異常	35	0	3	38
	血液系その他	112	1	14	127
感覚器	眼疾患	30	7	3	40
	耳疾患	62	3	6	71
筋・骨格系		7	1	0	8
皮膚疾患		1	3	0	4
その他		15	9	2	26
のべ人数(縦計)		2291	298	311	2900

3) 最終管理区分

区 分	異常なし	要教育/観察	要治療/治療中	未 検	計
実 数	141	430	156	192	919
割 合(%)	15.3	46.8	17.0	20.9	

《受診状況》

【全 学】

	身長・ 体重	視力	聴力	腹囲検査	血圧 測定	尿検査	胸部X線検査	心電図検査	血液検査	問 視 打聴診	胃検査	便検査
実 施 対 象	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	40歳 以上	40歳 以上
対 象 者 数	934	934	934	707	934	934	934	707	707	616	658	658
ドック受診者数	224	224	224	196	224	224	224	196	196	107	196	196
ドック結果提出者数	215	215	215	186	215	214	215	187	187	100	179	182
ドック結果提出率	96.0	96.0	96.0	94.9	96.0	95.5	96.0	95.4	95.4	93.5	91.3	92.9
他機関利用者数	10	10	10	9	10	10	10	9	9	8	9	9
他機関結果提出者数	10	10	10	8	10	10	10	9	9	7	5	5
他機関結果提出率	100.0	100.0	100.0	88.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	87.5	55.6	55.6
本学受診対象者数	700	700	700	502	700	700	700	502	502	501	453	453
本学受診者数	694	693	691	495	694	686	685	496	496	495	337	414
本学受診率	99.1	99.0	98.7	98.6	99.1	98.0	97.9	98.8	98.8	98.8	74.4	91.4
結 果 把 握 率	98.4	98.3	98.1	97.5	98.4	97.4	97.4	97.9	97.9	97.7	79.2	91.3

【札幌分室】

	身長・ 体重	視力	聴力	腹囲検査	血圧 測定	尿検査	胸部X線検査	心電図検査	血液検査	問 視 打聴診	胃検査	便検査
実 施 対 象	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	40歳 以上	40歳 以上
対 象 者 数	318	318	318	233	318	318	318	233	233		216	216
ドック受診者数	117	117	117	99	117	117	117	99	99		99	99
ドック結果提出者数	114	114	114	95	114	113	114	96	96		93	93
ドック結果提出率	97.4	97.4	97.4	96.0	97.4	96.6	97.4	97.0	97.0		93.9	93.9
他機関利用者数	2	2	2	1	2	2	2	1	1		1	1
他機関結果提出者数	2	2	2	1	2	2	2	1	1		1	1
他機関結果提出率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0
本学受診対象者数	199	199	199	133	199	199	199	133	133		116	116
本学受診者数	195	195	194	129	195	190	193	130	130		80	107
本学受診率	98.0	98.0	97.5	97.0	98.0	95.5	97.0	97.7	97.7		69.0	92.2
結 果 把 握 率	97.8	97.8	97.5	96.6	97.8	95.9	97.2	97.4	97.4		80.6	93.1

【旭川分室】

	身長・ 体重	視力	聴力	腹囲検査	血圧 測定	尿検査	胸部X線検査	心電図検査	血液検査	問 視 打聴診	胃検査	便検査
実 施 対 象	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	40歳 以上	40歳 以上
対 象 者 数	182	182	182	138	182	182	182	138	138	182	128	128
ドック受診者数	26	26	26	22	26	26	26	22	22	26	22	22
ドック結果提出者数	24	24	24	20	24	24	24	20	20	24	17	20
ドック結果提出率	92.3	92.3	92.3	90.9	92.3	92.3	92.3	90.9	90.9	92.3	77.3	90.9
他機関利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
他機関結果提出者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1
他機関結果提出率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0
本学受診対象者数	154	154	154	114	154	154	154	114	114	154	104	104
本学受診者数	154	154	154	114	154	151	149	114	114	153	79	97
本学受診率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.1	96.8	100.0	100.0	99.4	76.0	93.3
結 果 把 握 率	98.9	98.9	98.9	98.6	98.9	97.3	96.2	98.6	98.6	98.4	76.6	92.2

【釧路分室】

	身長・ 体重	視力	聴力	腹囲検査	血圧 測定	尿検査	胸部X線検査	心電図検査	血液検査	問 視 打聴診	胃検査	便検査
実 施 対 象	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	40歳 以上	40歳 以上
対 象 者 数	145	145	145	110	145	145	145	110	110	145	100	100
ドック受診者数	27	27	27	25	27	27	27	25	25	27	25	25
ドック結果提出者数	23	23	23	21	23	23	23	21	21	23	21	21
ドック結果提出率	85.2	85.2	85.2	84.0	85.2	85.2	85.2	84.0	84.0	85.2	84.0	84.0
他機関利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
他機関結果提出者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
他機関結果提出率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0
本学受診対象者数	117	117	117	84	117	117	117	84	84	117	74	74
本学受診者数	117	117	116	84	117	117	117	84	83	117	61	65
本学受診率	100.0	100.0	99.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.8	100.0	82.4	87.8
結 果 把 握 率	97.2	97.2	96.6	96.4	97.2	97.2	97.2	96.4	95.5	97.2	82.0	87.0

【函館分室】

	身長・ 体重	視力	聴力	腹囲検査	血圧 測定	尿検査	胸部X線検査	心電図検査	血液検査	問 視 打聴診	胃検査	便検査
実 施 対 象	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	40歳 以上	40歳 以上
対 象 者 数	198	198	198	157	198	198	198	157	157	198	146	146
ドック受診者数	30	30	30	28	30	30	30	28	28	30	28	28
ドック結果提出者数	30	30	30	28	30	30	30	28	28	29	26	27
ドック結果提出率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.7	92.9	96.4
他機関利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
他機関結果提出者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
他機関結果提出率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	66.7
本学受診対象者数	165	165	165	126	165	165	165	126	126	165	115	115
本学受診者数	165	164	164	125	165	165	163	125	126	162	92	108
本学受診率	100.0	99.4	99.4	99.2	100.0	100.0	98.8	99.2	100.0	98.2	80.0	93.9
結 果 把 握 率	100.0	99.5	99.5	99.4	100.0	100.0	99.0	99.4	100.0	98.0	82.2	93.8

【岩見沢分室】

	身長・ 体重	視力	聴力	腹囲検査	血圧 測定	尿検査	胸部X線検査	心電図検査	血液検査	問 視 打聴診	胃検査	便検査
実 施 対 象	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	全員	全員	35歳、40歳以上 雇い入れ時	35歳、40歳以上 雇い入れ時	全員	40歳 以上	40歳 以上
対 象 者 数	91	91	91	69	91	91	91	69	69	91	68	68
ドック受診者数	24	24	24	22	24	24	24	22	22	24	22	22
ドック結果提出者数	24	24	24	22	24	24	24	22	22	24	22	21
ドック結果提出率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	95.5
他機関利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
他機関結果提出者数	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	0	0
他機関結果提出率	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0
本学受診対象者数	65	65	65	45	65	65	65	45	45	65	44	44
本学受診者数	63	63	63	43	63	63	63	43	43	63	25	37
本学受診率	96.9	96.9	96.9	95.6	96.9	96.9	96.9	95.6	95.6	96.9	56.8	84.1
結 果 把 握 率	97.8	97.8	97.8	95.7	97.8	97.8	97.8	97.1	97.1	96.7	69.1	85.3

3. 職員の利用状況

区 分		札幌校		旭川校		釧路校		函館校		岩見沢校		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
内科系	呼吸器系	14	3	2	7	1	0	2	0	19	13	38	23
	消化器系	1	10	7	0	1	1	0	0	5	12	14	23
	循環器系	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	3
	血液系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器系	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	神経系	7	3	12	1	0	0	2	1	2	15	23	20
	その他	2	2	1	0	0	1	1	0	0	6	4	9
外科系	切創・擦過創等	17	10	5	6	2	0	2	1	5	12	31	29
	捻挫・つき指	0	1	0	1	1	0	0	0	1	4	2	6
	打撲	1	4	1	0	1	0	0	0	2	2	5	6
	筋肉痛・関節痛等	12	9	2	2	4	1	0	0	1	20	19	32
	骨折・脱臼	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0
	火傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0
その他患	皮膚科	6	9	2	0	0	0	0	0	1	5	9	14
	歯科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	眼科	3	4	0	1	1	0	0	0	0	1	4	6
	耳鼻科	4	3	0	0	1	1	0	0	0	9	5	13
	婦人科	0	8	0	3	0	0	0	0	0	13	0	24
	精神科	0	0	61	2	0	0	0	0	0	9	61	11
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康診断	事後措置	77	37	9	5	9	2	24	10	2	3	121	57
健康相談	医療相談(医師)	47	13	6	0	0	0	0	0	4	5	57	18
	医療相談(看護師)	39	23	59	32	79	45	56	13	40	45	273	158
検 査	血圧測定	18	3	5	0	0	0	0	0	108	0	131	3
	身長・体重測定	5	9	1	0	0	0	0	0	1	2	7	11
	視力・聴力	0	0	7	0	0	0	0	0	0	2	7	2
	尿検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	7	3	0	0	0	0	0	0	1	0	8	3
その他	計	3	0	0	0	21	17	1	0	4	6	29	23
計		267	156	181	61	123	68	89	25	197	187	857	497

支 援 区 分		札幌校		旭川校		釧路校		函館校		岩見沢校		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
相談・観察		135	71	141	48	92	47	87	23	178	96	633	285
応急措置(投薬、外傷処置等)		63	57	27	12	6	1	2	2	18	89	116	161
他機関紹介		25	10	2	1	6	3	0	0	0	0	33	14
情報提供		44	18	11	0	19	17	0	0	1	2	75	37
計		267	156	181	61	123	68	89	25	197	187	857	497

		札幌校		旭川校		釧路校		函館校		岩見沢校		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
健康診断書	発行人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発行枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症欠席届人数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

		札幌校		旭川校		釧路校		函館校		岩見沢校		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ベッド利用	ベッド休養	0	0	3	1	0	1	0	0	0	2	3	4
	ベッド休養(診察を伴うもの)	2	5	61	7	0	0	6	0	0	2	69	14

V. メンタルヘルス調査

本年度の健康調査問診票の対象者数は全体で5168名、回収された調査票数は4692名分であり、回収率は約90%であった。昨年度の回収率が98%だったことを考えると、コロナ禍が回収率にかなり影響したように思われる。そのうちハイリスクの可能性のある学生数は247名となり、回答者数の約5.3%であった。昨年度は回答者の4.3%であり、コロナ禍においてハイリスク学生の割合が上昇していることがうかがえる。スクリーニング面接を実施した学生数は全体で224名であり、呼び出し対象者の約90%が面接に来ていた。これは昨年度の92%とほぼ変わらない結果となった。面接に現れなかった学生には指導教員へ連絡をして来室を促すようにした。その後、カウンセリングなどの個別支援につなげた学生は全体では74名、約33%であり、昨年度より10%減少した。

スクリーニング判定の内訳を見ると、最も多かったのが4の「経過を見る」で144名であり、緊急の介入を必要とはしていない学生が多かったのは例年通りであった。次に3の「継続的なカウンセリングが望ましい」が59名となり、継続的なフォローアップの対象となった。また5の「その他」も17名いたが、ここには「精神科を受診して薬物療法を受けることを指示した」などの対応が含まれている。1の「何らかの緊急の対応を要する」と判定された学生は4名であった。緊急度に応じて保護者や指導教員と情報共有しつつ、かつ医療機関などと連携して対応した。また2の「緊急性はないが、指導教員との情報共有が必要」とされた学生は8名であり、たとえリスクがそれほど高くない場合でも、指導教員との連携体制を構築することを意識して対応した。スクリーニング結果そのものには大きな変化は見られなかったが、コロナ禍の影響で学生の抱えるリスク度が上がったことが示唆された一方で、そのような学生へのアクセスを維持することの難しさが示唆された。

各校	学生定期健康診断 (健康調査)		調査票から判断されたハイリスクの可能性のある学生数	スクリーニング (面接) 実施者数	カウンセリング等 個別支援実施者数	スクリーニング結果				
	対象者数	調査票数				1	2	3	4	5
札幌校	1,206	1,142	57	55	17	1	1	14	36	7
旭川校	1,197	1,109	48	43	15	1	0	11	26	5
釧路校	752	740	58	53	14	0	2	12	39	0
函館校	1,226	931	33	23	13	0	0	12	11	2
岩見沢校	787	770	51	50	15	2	5	10	32	3
計	5,168	4,692	247	224	74	4	8	59	144	17

※スクリーニング結果：1 何らかの緊急の対応を要する、2 緊急性はないが指導教員との情報共有が必要と思われる、3 継続的なカウンセリングにつなげるのが望ましい、4 当面は何もせずに経過を見守るだけで良い、5 その他

Ⅵ. カウンセリング実施状況

今年度は相談件数が最も多いのは岩見沢分室である。これは今年度から岩見沢に常勤コーディネーターが着任したことを反映していると考えられる。特に岩見沢では実人数は札幌と大きく変わらないことを考えると、継続して来談に定着している学生が多いと考えられる。旭川も同様に継続来談者が多い傾向がうかがえる。

今年度はどの分室でもTV電話面接の件数が減少し、代わりに電話相談の件数が増加した。これは電話相談の中に今年度からコロナ対策として導入したZoomを用いた相談の件数が含まれているためである。従来TV電話を利用するためには保健管理センターまで来室しなければならなかったが、Zoomは学生も教職員も自宅から利用が可能のため、今後も同様の傾向は強まると思われる。

月別の利用件数で見ると、4、5月はコロナ禍のために入構が制限されていたことや例年4月に実施していたスクリーニングのための健康調査問診票が実施できなかったため、件数は少なかったが、6月以降徐々に増え始めている。相談内容別で見ると、釧路を除いた全てで精神面についての相談件数が多くなっており、コロナ禍の影響を反映しているものと思われる。また岩見沢ではコンサルテーションの件数が大幅に増加しており、これも常勤コーディネーターを採用したことの効果が表れていると考えられる。聴講生・研究生は主に留学生を指しているが、もともと少なかった留学生の利用がコロナ禍のためにさらに減少していることがうかがえる。

【札幌校】〈専任カウンセラー1名・非常勤カウンセラー1名〉

表1 月別・相談方法別相談者数（上段 実人数、下段 延人数）

方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面 接		3	2	4	1	3	6	9	11	5	4	2	5	23
		4	4	5	2	6	10	21	20	6	8	3	5	94
テ レ ビ 電 話		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電 話		2	3	24	25	18	12	15	10	8	5	9	6	81
		3	6	34	37	23	16	15	15	14	10	16	12	201
計		4	4	27	25	19	17	22	21	12	9	11	10	93
		7	10	39	39	29	26	36	35	20	18	19	17	295

表2 学年別・相談内容別相談者数（上段 実人数、下段 延人数、右側 女子内数）

学 年 等	学 部 学 生								大学院生				別科等	聴講生 研究生	職員	計					
	1年	2年	3年	4年	留年	1年	2年	1年	2年												
相 談 内 容	修学相談	3	2	3	3	2	1	1	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	12	8	
		5	4	3	3	2	1	1	0	9	9	4	0	0	0	0	0	0	24	17	
	進路相談	0	0	1	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	
		0	0	1	1	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	
	対人関係	2	2	3	2	5	4	6	3	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	18	11
		3	3	12	10	28	21	9	6	0	0	7	0	0	0	0	0	6	4	65	44
	自分・性格	2	1	2	1	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	9	6
		2	1	4	1	2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	13	7
	精 神 面	7	5	9	7	6	4	4	1	2	1	2	1	1	1	0	0	2	1	33	21
		13	11	20	15	17	11	25	4	2	1	6	1	1	1	0	0	18	15	102	59
	キーパーソン	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	
		1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	
	コンサルテーション	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	4	11	6
		1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	4	17	6
	発達障害関連	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	4
		4	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7	7
そ の 他	19	7	14	9	9	9	7	3	2	1	2	0	3	3	0	0	0	0	56	32	
	20	7	15	10	9	9	8	3	2	1	2	0	3	3	0	0	0	0	59	33	
計	27	14	17	11	16	14	11	5	4	2	4	1	3	3	0	0	12	5	93	54	
	49	32	58	43	62	46	47	17	13	11	21	1	4	4	0	0	41	25	295	179	

【旭川校】〈学生支援コーディネーター1名〉 ※テレビ電話は専任カウンセラーが担当
表3 月別・相談方法別相談者数(上段 実人数、下段 延人数)

方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	面接	5	4	6	7	9	6	13	16	19	15	17	10	48
5		5	11	11	14	9	18	30	37	19	27	14	200	
テレビ電話	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
電話	2	18	19	10	8	7	8	6	5	12	6	4	58	
	3	23	28	13	10	10	12	10	11	17	8	6	151	
計	6	19	24	16	16	11	19	20	23	20	21	12	86	
	8	28	39	24	24	19	30	40	49	36	35	20	352	

表4 学年別・相談内容別相談者数(上段 実人数、下段 延人数、右側 女子内数)

学年等	学部学生					大学院生		別科等	聴講生 研究生	職員	計												
	1年	2年	3年	4年	留年	1年	2年																
相 談 内 容	修学相談	1	0	1	1	2	1	4	2	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	6	
		3	0	4	4	9	8	18	13	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	27
	進路相談	0	0	0	0	1	0	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	
		0	0	0	0	1	0	5	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	
	対人関係	2	0	2	2	4	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	6	
		5	0	19	19	10	9	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	33	
	自分・性格	0	0	0	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	2	
		0	0	0	0	14	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	18	8	
	精神面	1	0	3	3	7	5	5	5	3	2	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	23	16
		2	0	5	5	47	23	46	46	7	5	0	0	22	6	0	0	0	1	0	130	85	
	キーパーソン	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	2	
		0	0	0	0	16	16	9	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	26	19	
	コンサルテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	2	20	2	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	3	36	3	
	発達障害関連	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	
		3	0	0	0	0	7	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2	
	その他	8	4	5	3	9	5	11	5	2	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	37	19	
		8	4	5	3	9	5	11	5	2	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	38	19	
計	9	4	7	5	20	11	20	12	6	3	0	0	3	1	0	0	0	21	2	86	38		
	21	4	33	31	106	69	104	75	24	8	0	0	24	7	0	0	0	40	3	352	197		

【釧路校】〈非常勤カウンセラー1名〉 ※テレビ電話は専任カウンセラーが担当
表5 月別・相談方法別相談者数(上段 実人数、下段 延人数)

方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	面接	0	0	0	6	6	2	4	8	10	4	0	0	24
0		0	0	7	7	2	9	15	16	8	0	0	64	
テレビ電話	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	
	0	0	0	0	0	0	3	3	2	0	0	0	8	
電話	0	9	21	13	12	1	9	2	5	2	2	2	58	
	0	9	26	18	13	1	11	5	9	5	7	6	110	
計	0	9	21	18	17	3	14	11	13	6	2	2	72	
	0	9	26	25	20	3	23	23	27	13	7	6	182	

表6 学年別・相談内容別相談者数(上段 実人数、下段 延人数、右側 女子内数)

学年等	学部学生					大学院生		別科等	聴講生 研究生	職員	計				
	1年	2年	3年	4年	留年	1年	2年								
相 談 内 容	修学相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	進路相談	1	1	1	1	3	2	4	2	0	0	1	1	0	7
		1	1	1	1	6	3	7	4	0	0	1	1	0	10
	対人関係	6	4	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	3	8
		11	9	1	1	1	3	3	0	0	0	0	0	20	19
	自分・性格	1	1	1	1	3	3	4	2	0	0	0	0	1	8
		1	1	1	1	5	5	20	12	0	0	0	0	5	24
	精神面	2	2	1	1	3	2	2	0	0	1	1	0	2	7
		7	7	2	2	3	2	4	0	0	3	3	0	2	15
	キーパーソン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コンサルテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2
	発達障害関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	その他	6	2	15	9	17	11	14	7	1	0	1	1	0	30
		6	2	15	9	19	13	23	11	1	0	3	3	0	67
計	11	5	17	11	17	11	18	8	1	0	1	1	0	39	
	29	20	20	14	34	24	57	30	1	0	7	7	0	182	

【函館校】〈非常勤カウンセラー1名〉 ※テレビ電話は専任カウンセラーが担当

表7 月別・相談方法別相談者数（上段 実人数、下段 延人数）

方法	月													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
面 接	0	1	2	2	1	0	14	10	7	4	4	0	30	
	0	1	2	2	2	0	27	14	17	9	4	0	78	
テ レ ビ 電 話	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
電 話	0	6	4	10	2	1	4	0	2	5	1	2	23	
	0	12	17	18	2	4	4	0	3	6	1	2	69	
計	1	6	6	11	3	1	17	10	8	9	5	2	46	
	3	13	19	20	4	4	31	14	20	15	5	2	150	

表8 学年別・相談内容別相談者数（上段 実人数、下段 延人数、右側 女子内数）

学 年 等	学 部 学 生									大学院生		別科等	聴講生 研究生	職員	計					
	1年	2年	3年	4年	留年	1年	2年													
相 談 内 容	修学相談	3	3	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	7	6
		5	5	2	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	10	8
	進路相談	0	0	0	0	0	0	6	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7	7
		0	0	0	0	0	0	10	10	2	2	0	0	0	0	0	0	0	12	12
	対人関係	2	1	3	2	1	1	2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	9	6
		4	3	4	3	2	2	2	1	0	0	0	0	0	4	4	0	0	16	13
	自分・性格	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	精 神 面	3	3	5	3	5	5	5	4	1	1	0	0	0	1	1	1	1	21	18
		9	9	15	12	35	35	15	14	1	1	0	0	0	8	8	1	1	84	80
	キーパーソン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コンサルテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	4
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	4
	発達障害関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他	9	5	5	4	2	2	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	22	15	
	9	5	5	4	2	2	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	22	15	
計	10	6	9	6	6	6	10	7	5	4	0	0	0	1	1	1	1	46	32	
	27	22	26	19	39	39	33	30	8	7	0	0	0	12	12	1	1	150	131	

【岩見沢校】〈常勤カウンセラー1名〉 ※テレビ電話は専任カウンセラーが担当

表9 月別・相談方法別相談者数（上段 実人数、下段 延人数）

方法	月													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
面 接	9	20	24	21	14	26	36	18	17	21	14	13	104	
	12	26	39	71	29	57	73	49	33	44	32	32	497	
テ レ ビ 電 話	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
電 話	0	13	7	4	4	3	10	5	3	1	3	2	35	
	0	14	7	4	7	5	17	6	3	1	4	3	71	
計	9	33	28	23	17	29	44	22	20	21	16	14	118	
	12	40	46	75	36	62	92	55	36	45	36	35	570	

表10 学年別・相談内容別相談者数（上段 実人数、下段 延人数、右側 女子内数）

学 年 等	学 部 学 生									大学院生		別科等	聴講生 研究生	職員	計							
	1年	2年	3年	4年	留年	1年	2年															
相 談 内 容	修学相談	4	4	5	5	1	0	4	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	18	14		
		14	14	10	10	1	0	8	4	4	4	3	2	0	0	0	0	0	40	34		
	進路相談	1	1	0	0	2	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	4		
		5	5	0	0	14	8	5	1	10	10	0	0	0	0	0	0	0	34	24		
	対人関係	2	2	0	0	2	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3	2	10	8	
		2	2	0	0	2	2	1	0	2	2	2	0	0	0	0	0	6	4	15	12	
	自分・性格	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
		0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2		
	精 神 面	4	4	4	4	3	3	7	4	2	2	1	1	0	0	0	1	1	0	22	19	
		16	12	13	13	18	18	23	19	3	3	3	3	0	0	0	1	1	77	69		
	キーパーソン	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7	7	
		7	7	5	5	4	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	20	20	
	コンサルテーション	2	1	4	4	3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	29	10	40	19	
		3	1	8	8	5	5	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	296	192	319	209	
	発達障害関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
そ の 他	13	11	8	5	13	10	13	11	3	2	1	1	1	1	0	0	0	3	0	55	41	
	14	12	8	5	13	10	20	18	3	2	1	1	1	1	0	0	0	3	0	63	49	
計	18	15	17	14	20	16	19	13	6	5	3	2	1	1	0	0	1	1	33	12	118	79
	61	53	44	41	57	47	68	49	22	21	9	8	1	1	0	0	1	1	307	198	570	419

Ⅶ. 調査報告

『本学における感染症対策の見直し』

羽賀 将衛, 石田 香, 三上 麻紀, 小野寺千鶴子, 河上 靖子, 河合 和恵

北海道教育大学保健管理センター

Ⅰ. はじめに

本学では、平成20年4月に新入学生32名の麻疹集団感染を経験したことを契機に、麻疹対策を徹底させることを決め、平成21年度から、新入学生全員に麻疹ワクチン接種歴あるいは抗体検査結果の提出を求めている。これにより、麻疹に関しては全学生の99%以上が免疫を有すると推測される状況が維持されているが¹⁾、風疹については、麻疹のような詳細な調査および分析をしていなかった。風疹は、平成25年に全国的な大流行が起り、平成30年から令和元年にかけてもこれに次ぐ大きな流行があり、今後も起り得る流行に対して備えが必要と考えられた。

Ⅱ. 対象および方法

平成26年度から30年度までの新入学生のうち麻しん風しん第3期定期接種の対象であった者、それぞれ1043名、1209名、1216名、1239名、1224名を対象として、入学前健康アンケートの記載および添付された母子健康手帳のコピーから、(1) 麻疹および風疹のワクチン接種回数および接種時期、(2) 麻疹ワクチン接種が1回または0回だった者の本学入学前のワクチン接種あるいは抗体検査の動向を可能な限り確認し、(3) 麻疹のワクチン接種あるいは抗体検査の動向が風疹ワクチンの接種回数に及ぼした影響を分析した。

Ⅲ. 結果

麻疹ワクチンを2回以上接種している者の割合が91.6～94.3%であったのに対し、風疹ワクチンを2回以上接種している者の割合は80.9～90.0%であった(表1、2)。

風しんワクチン接種が1回のみの方のうち、第3期定期接種および第3期の時期以降の接種はいずれもMRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)で、幼児期の1回のみはみな風疹単独ワクチンであった。

風しんワクチン接種が幼児期の1回または0回の者は、いずれも第3期定期接種を受けておらず麻疹ワクチン接種も1回または0回であったため、本学への入学前に麻疹ワクチン接種を勧められていたが、MRワクチンを接種した者はいなかった。MRワクチンを接種しなかった要因は、本学への入学が決まった後に麻疹単独ワクチンを接種したことが41.2%。同じく麻疹抗体検査を受けたことが45.5%、その他不詳が13.3%であった(表3)。

表1 新入学生の麻疹ワクチン接種回数

	平成26年度 (n=1043)	平成27年度 (n=1209)	平成28年度 (n=1216)	平成29年度 (n=1239)	平成30年度 (n=1224)
2回以上	92.6%	91.6%	92.8%	94.3%	91.6%
1回	4.3%	3.6%	2.6%	2.5%	3.2%
0回	2.8%	4.2%	4.0%	2.6%	4.2%

表2 新入学生の風疹ワクチン接種回数

	平成26年度 (n=1043)	平成27年度 (n=1209)	平成28年度 (n=1216)	平成29年度 (n=1239)	平成30年度 (n=1224)
2回以上	81.2%	82.4%	83.2%	87.7%	90.6%
1回	17.7%	14.8%	14.0%	11.0%	8.2%
0回	1.1%	2.8%	2.50%	1.6%	1.2%

表3 MRワクチンを摂取しなかった要因

麻疹単独ワクチンを接種した	124人 (41.2%)
麻疹抗体検査を受けた	137人 (45.5%)
その他、不詳	40人 (13.3%)

IV. 考 察

平成21年度から開始した麻疹対策により、本学では、学生のほぼ全員が麻疹に対して免疫を有すると推測される状況が維持されている。その一方で、麻疹にのみ重点を置いた本学の感染症対策のあり方が、風疹ワクチン接種が不完全な状態になっている背景にあると考えられた。風疹は、平成25年および平成30年から令和元年にかけて全国的な流行があり、今後も同様の大きな流行が起こる可能性を否定できない。そこで、今年度からは、風疹についても麻疹と同様にワクチン接種歴あるいは抗体検査結果の提出を求めることとした。これにより、麻疹、風疹ともに、全学生が免疫を有すると推測される状況を得ることができると期待される。

医療系の大学や学部では、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎の5疾患に対するワクチン接種あるいは抗体検査が一般的に行われているが、非医療系大学でどこまで対策を実施するかは、今後の検討課題である。すでに定期接種となっている水痘ワクチンおよびB型肝炎ワクチンについては、定期接種の対象年代が大学に入学してくるまでには本学の対応方針を決めておくべきと考える。流行性耳下腺炎ワクチンについては、今後、定期接種になるかどうかなど、状況を踏まえて検討したい。

V. 結 語

これまでの本学の感染症対策は、麻疹の排除には有効であった一方で、風疹対策が不完全になっており、風疹についても麻疹と同様の対策をとるべきであると考えられた。

非医療系大学でどこまで感染症対策を実施するか、今後も検討が必要である。

引用文献

- 1) 羽賀将衛, 石田 香, 三上麻紀, 小野寺千寿子, 河上靖子, 河合和恵. 本学新入学生の麻疹ワクチン接種動向－第3期・第4期定期接種対象年代による比較－. 北海道教育大学紀要（自然科学編）. 2018;70 (1) : 27-30.

Ⅷ. 研究・教育・広報活動

1. 講演・講習会等

〈羽賀〉

- ・「救急処置の理解と実際」 令和2年度初任段階養護教諭研修（1年次）（北海道教育委員会）
令和2年8月～12月（オンデマンド形式で実施）
- ・「教職に就く者として知っておくべき感染症の知識」 教職論（札幌校1年生）
令和2年7月17日（金）～（オンデマンド形式で実施）
- ・学内心肺蘇生講習（授業以外のもの） 5キャンパス教職員
新型コロナウイルス感染症流行により実施せず
- ・食品衛生講習会
大学祭中止により実施せず 札幌校藍涼祭模擬店関係者

〈三上〉

- ・「メンタルヘルスについて～無理なく働き続けるために～」 北海道教育大学初任職員研修
令和2年4月8日（水）（札幌校）

2. 授業担当

〈羽賀、三上〉

- ・心身健康管理学（前期選択科目、大学教育情報システムを用いて5キャンパス対象）
- 〈羽賀〉
- ・心肺蘇生授業
新型コロナウイルス感染症流行により実施せず
- 〈三上〉
- ・「学校現場のカウンセリング」（キャリア開発の基礎）
令和2年12月8日（火）（札幌校・録画配信）
- ・「うつ病について考える」（国語研究室）
令和3年1月7日（木）（札幌校・Zoom配信）

3. 研究発表

① 誌上発表

〈三上〉

- ・青年期以降のクライアントとの心理療法におけるアタッチメントの活用に関する研究
首都大学東京博士論文（2020年1月）（未刊行）（単著）
- ・Crittendenの「アタッチメントと適応の動的—成熟モデル（DMM）」による成人アタッチメント研究の展望：その理論的特徴と臨床的意義について
思春期青年期精神医学, 29, 125-142. (2020年2月)（単著）
- ・Crittendenの「アタッチメントと適応の動的—成熟モデル（DMM）」による成人アタッチメント研究の展望Ⅱ：実証研究、事例研究、および司法場面への応用について

思春期青年期精神医学, 30, 38-57. (2020年6月) (単著)

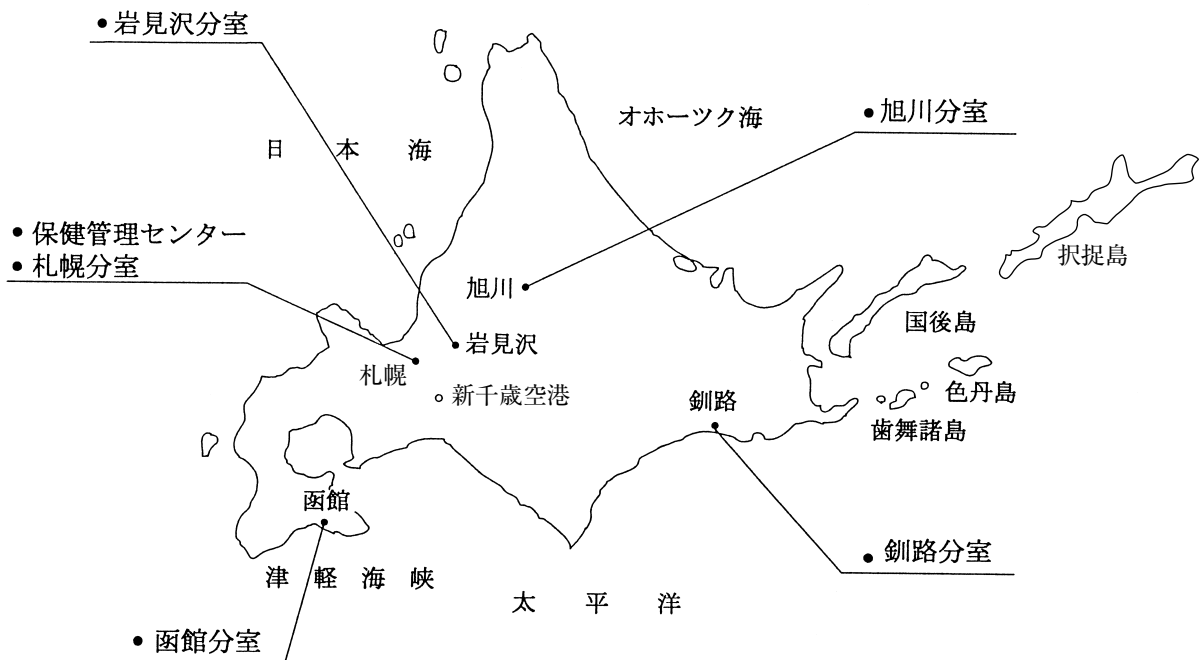
② 学会・研究会発表

なし。

4. 刊行物

- | | |
|--------------------------|---------|
| ・保健管理センターのしおり 2020年版 | 令和2年4月 |
| ・HUE-LANDSCAPE | |
| No.32 グローバル社会と感染症 | 令和2年4月 |
| No.33 コロナ禍のメンタルヘルス対策 | 令和2年10月 |
| ・保健管理センター年報 第28号 (令和元年度) | 令和2年10月 |

区. 施設所在地



保健管理センター	☎002-8501	札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号 ☎011-778-0296 (センター長室) ☎011-778-0297 (カウンセラー室) ☎011-778-0298 (事務室) FAX 011-778-0636
札幌分室	☎002-8501	札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号 ☎011-778-0298
旭川分室	☎070-8621	旭川市北門町9丁目 ☎0166-59-1245
釧路分室	☎085-8580	釧路市城山1丁目15番55号 ☎0154-44-3259
函館分室	☎040-8567	函館市八幡町1番2号 ☎0138-44-4374
岩見沢分室	☎068-8642	岩見沢市緑が丘2丁目34番地の1 ☎0126-32-0235

X. 保健管理センター関係者名簿（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

センター長 羽 賀 將 衛（教授）
カウンセラー 三 上 謙 一（准教授）
看護師 石 田 香
事務補佐員 藤 岡 愛紗美

保健管理センター運営委員会（各校選出関係）

（札）神 林 勲 平成31. 4. 1～（分室長）
（ク）平 野 直 己 令和2. 4. 1～
（旭）芝 木 美沙子 平成24. 4. 1～（分室長）
（ク）萩 原 拓 平成27. 10. 1～
（釧）関 谷 祐 里 平成29. 4. 1～（分室長）
（ク）越 川 茂 樹 平成29. 4. 1～
（函）坂 本 紀 子 平成28. 4. 1～（分室長）
（ク）細 谷 一 博 平成30. 4. 1～
（岩）森 田 憲 輝 平成29. 10. 1～（分室長）
（ク）福 原 崇 之 平成28. 4. 1～

分室運営委員

（札）神林 勲、平野直己、菅原 健、羽賀將衛、三上謙一、
八木利夫、石田 香
（旭）芝木美沙子、川邊淳子、萩原 拓、板谷 厚、
瀧田 勉、三上麻紀
（釧）関谷祐里、越川茂樹、中西紗織、小野寺千鶴子
（函）木村育恵、細谷一博、廣畑圭介、孔 麗、佐藤 隆、河上靖子
（岩）森田憲輝、福原崇之、二宮英美歌、小倉晃布、佐藤雅紀、河合和恵

学 校 医

（旭）笹 嶋 由 美 平成27. 4. 1～
（釧）福 嶋 誠 （ふくしま医院院長） 平成22. 4. 1～
（函）恩 村 宏 樹 （恩村内科医院院長） 平成18. 4. 1～
（岩）伊 藤 正 美 （中央医院院長） 平成14. 4. 1～

カウンセラー（常勤）

（岩）菊 谷 欣 広 令和2. 4. 1～

カウンセラー（非常勤）

（札）別 府 孝 子 令和2. 4. 1～

（釧）村 上 沙由里 平成30. 4. 1～

（函）大 杉 ユリ子 平成30. 4. 1～

学生支援コーディネーター（非常勤）

（旭）安 田 小 響 平成31. 4. 1～

看 護 師

（札）石 田 香 平成30. 4. 1～

（旭）三 上 麻 紀 平成15. 4. 1～

（釧）小野寺 千鶴子 平成5. 4. 1～

（函）河 上 靖 子 平成22. 4. 1～

（岩）河 合 和 恵 平成30. 4. 1～

事務担当職員

教育研究支援部長	尾 原 敏 則	平成31. 4. 1～
学 生 支 援 課 長	八 木 利 夫	令和2. 4. 1～
学生支援課学生支援グループ係長	森 章	平成31. 4. 1～
（旭）教育支援グループ係長	及 川 昇	平成29. 4. 1～令和2. 9. 30
（旭）教育支援グループ係長	石 坂 裕 子	令和2. 10. 1～
（釧）教育支援グループ係長	上 野 祥 広	平成29. 4. 1～令和2. 9. 30
（釧）教育支援グループ係長	坂 本 志保美	令和2. 10. 1～
（函）教育支援グループ係長	瓜 生 淳 一	平成30. 4. 1～令和2. 5. 31
（函）教育支援グループ係長	武 藤 丈	令和2. 6. 1～
（岩）教育支援グループ係長	上 山 幸 子	平成31. 4. 1～令和2. 6. 30
（岩）教育支援グループ係長	鹿 内 治	令和2. 7. 1～

XI. 保健管理センター沿革・目的

沿 革

- 昭和63. 11. 8 保健管理センター設置準備委員会が発足した。
- 平成元. 5. 29 国立学校設置法施行規則の一部改正により保健管理センターが設置され、同日付けで坂口勉学生部長が所長事務取扱として就任。
保健管理委員会に関する細則、保健管理センター規程、保健管理センター運営委員会規程、保健管理センター所長候補者選考規程が制定された。
- 平成元. 10. 1 保健管理センター教授（医師）に中川光二が就任。
- 平成元. 10. 11 保健管理センター講師（カウンセラー）に徳田完二が就任。
- 平成元. 11. 6 カウンセラーの分校巡回・指導を開始した。
- 平成2. 2. 1 保健管理センター所長（併任）に中川光二教授が就任。
- 平成2. 10. 1 保健管理センターだより『爽』、Campus Health Guideの発行を開始した。
- 平成5. 2. 17 医療法上の「診療所」として開設したことについて、文部省より通知があった。
- 平成6. 10. 1 保健管理センター助教授（カウンセラー）に徳田完二が昇任。
- 平成8. 3. 22 学生相談用テレビ電話システムを導入した。
- 平成8. 3. 31 保健管理センター所長（併任）中川光二教授退職。
- 平成8. 4. 1 保健管理センター教授（医師）に久保光正が就任。
保健管理センター所長（併任）に久保光正教授が就任。
- 平成9. 6 非常勤カウンセラーを函館・旭川・岩見沢分室に配置した。
- 平成11. 3 保健管理業務の一部電算システムを札幌・函館・岩見沢分室で導入した。（教育改善推進費）
- 平成11. 11 保健管理業務の一部電算システムを旭川・釧路分室に導入した。（教育改善推進費）
- 平成13. 3. 31 保健管理センター助教授（カウンセラー）徳田完二退職。
- 平成13. 10. 1 保健管理センター助教授（カウンセラー）に酒井久実代が就任。
- 平成14. 2 血圧測定値自動取込システムを導入した。（教育改善推進費）
- 平成17. 3 保健管理センター助教授（カウンセラー）酒井久実代退職。
- 平成18. 4 保健管理センター講師（カウンセラー）に三上謙一が就任。
- 平成19. 1 保健管理センター所長久保光正教授退職。
- 平成19. 11. 1 保健管理センター教授（医師）に羽賀将衛が就任。
- 平成19. 12. 1 保健管理センター所長に羽賀将衛教授が就任。
- 平成22. 4. 1 保健管理センター准教授（カウンセラー）に三上謙一が昇任。
- 平成27. 4. 1 保健管理センター所長を保健管理センター長に改称。

目 的

保健管理センターは、本学の学生及び職員の心身の健康の保持増進を図ることを目的として、定期・臨時健康診断及び事後措置、健康相談、精神保健相談、環境衛生及び伝染病の予防について指導援助、保健衛生思想の普及・啓蒙等の業務を行う。

XII. 関係規則

○ 北海道教育大学保健管理センター規則

制 定 平成16年4月1日
平成16年規則第26号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人北海道教育大学運営規則（平成26年規則第25号）第14条の2第2項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、本学の保健管理に関する専門的業務を行い、学生及び教職員の心身の健康の保持増進を図ることを目的とする。

第2章 業務、職員及び分室

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 保健管理に関する実施計画の立案
- (2) 定期及び臨時の健康診断
- (3) 健康診断の事後措置等健康の保持増進に必要な事項
- (4) 健康相談
- (5) カウンセリング
- (6) 環境衛生に関する指導
- (7) 感染症対策
- (8) 応急措置
- (9) 保健管理の充実向上のための調査・研究
- (10) その他健康の保持増進に必要な専門的業務

(職員)

第4条 センターに、センター長のほか、次に掲げる職員を置く。

- (1) 専任教員
- (2) 技術職員

2 センターに、前項のほか、事務職員その他必要な職員を置くことができる。

(職務)

第5条 センター長は、学長の監督の下に、センターの業務を掌理し、所属職員を監督する。

- 2 専任教員は、健康相談及びカウンセリング業務等に従事する。
- 3 技術職員は、看護業務等に従事する。

(分室)

第6条 センターに、札幌分室、旭川分室、釧路分室、函館分室及び岩見沢分室（以下「分室」という。）を置く。

- 2 分室に分室長を置き、分室所在校の教授のうちから、キャンパス長の推薦により、学長が任命する。
- 3 分室長の任期は、2年とし、再任されることができる。ただし、補欠の分室長の任期は、前任者の残任期間とする。

4 分室長の任期の末日は、当該分室長を任命する学長の任期の末日以前でなければならない。

第3章 運営委員会等

(学生生活サポート室)

第7条 センターに、学生生活上の課題や心身の健康上の困難を抱えた学生の支援を行うため、学生生活サポート室を置く。

2 学生生活サポート室に関し必要な事項は、別に定める。

(運営委員会)

第8条 センターに、センターの運営に関する必要な事項を審議するため、運営委員会を置く。

(組織)

第9条 運営委員会は、次に掲げる委員で組織する。ただし、次条第3号に規定する事項を審議する場合には、第1号から第4号に掲げる委員で組織する。

- (1) センター長
- (2) 分室長
- (3) 各校において選出された教授又は准教授 各1人
- (4) センターの専任教員
- (5) 総務企画部長
- (6) 教育研究支援部長
- (7) センター勤務の技術職員

2 前項第3号の委員は、キャンパス長の推薦により、学長が任命する。

3 第1項第3号の委員の任期は、2年とし、再任されることができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第10条 運営委員会は、次の事項を審議する。

- (1) センター運営及び保健管理の基本方針に関する事項
- (2) 中期目標・中期計画及び年度計画の実施に関する事項
- (3) 人事に関する事項
- (4) 配分予算に関する事項
- (5) 組織に関する事項
- (6) その他運営及び保健管理に関する重要な事項

(会議)

第11条 運営委員会は、センター長が招集し、議長となる。

2 センター長は、委員の3分の1以上の要請があった場合は、運営委員会を招集しなければならない。

3 運営委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 第9条第1項第3号の委員が出席できないときは、代理を出席させることができる。

5 運営委員会の議事は、出席した委員（前項の代理を含む。）の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、前条第3号の人事に関する事項のうち、専任教員の採用及び昇任に係る議事は、出席した委員（前項の代理を含む。）の3分の2以上をもって決定する。

6 議長が必要と認めたときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第12条 運営委員会に、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の組織及び運営については、運営委員会が別に定める。

(分室運営委員会)

第13条 分室に、分室運営委員会を置く。

2 分室運営委員会の組織及び運営については、各校のキャンパス長が別に定める。

第4章 雑則

(事務)

第14条 センターに関する事務は、学務部学生課が行う。

(雑則)

第15条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、運営委員会の審議を経て、センター長が定める。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の日の前日において、北海道教育大学保健管理センター規程（平成元年5月29日制定）による分室長である者は、この規則による分室長とみなし、その任期は、分室長として任命されていた期間の終期までとする。この場合において、第6条第2項中「教授」とあるのは「教授又は助教授」と読み替えるものとする。

3 この規則の施行の日の前日において、北海道教育大学保健管理センター運営委員会規程（平成元年5月29日制定）による運営委員会委員である者は、この規則による運営委員会委員とみなし、その任期は、運営委員会委員として任命されていた期間の終期までとする。

附 則（平成19年3月30日平成18年規則第68号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成23年8月24日平成23年規則第44号）

この規則は、平成23年8月27日から施行する。

附 則（平成26年3月25日平成25年規則第45号）

この規則は、平成26年3月25日から施行する。

附 則（平成27年3月26日平成26年規則第64号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月27日平成29年規則第30号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年2月4日令和元年規則第27号）

この規則は、令和2年2月4日から施行する。

附 則（令和2年4月20日令和2年規則第63号）

この規則は、令和2年10月1日から施行する。

附 則（令和3年3月31日令和2年規則第150号）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和3年5月27日令和3年規則第1号）

この規則は、令和3年5月27日から施行する。

あ と が き

保健管理センター カウンセラー 三 上 謙 一

令和2年度の保健管理センター年報（第29号）をお届けいたします。

昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍は収束の兆しを見せていません。今年度になれば少しは対面授業も増やせるのではないかと当初は思われましたが、残念ながらそうはなりません。開催をめぐって議論のあったオリンピック・パラリンピックも無観客にはなったものの予定通り開催されて、緊急事態宣言も9月末まで延長されることとなりました。ワクチン接種は少しずつ進んでいますが、変異株の勢いがワクチンの効果を上回る可能性があり、依然として予断を許しません。

学生も教職員も昨年同様のストレスフルな毎日を送っています。カウンセリングも来談者の希望に応じて対面とZoomと電話を使い分けて、できるだけ柔軟に対応するように努めました。しかし、いくら感染対策をしても、こちらが感染してしまう不安もなくなるわけではなく、緊張を強いられる毎日が続いています。

もっともコロナ禍はストレスばかりではなく、すでに色々なところで指摘されているところではありますが、コロナ禍によって今まで気づかなかったことに気づかされた面もあります。たとえば大学生活における講義以外の活動の重要性です。サークル活動が大学生の人格形成にとってどれほど大きな役割を果たしていたのかをいまさらながら気づかされた気がします。今後、大学は講義の充実だけでなく、サークル活動の文化が途切れないように支援に力を入れる必要があるでしょう。

またZoom相談を導入することで、自宅にいながらにして学生や教職員がカウンセリングを受けられるようになったのは予想以上のメリットがありました。もともと保健管理センターでは札幌とその他のキャンパスとの間でTV電話を使用してカウンセリングをしてきた実績があります。しかし、TV電話を利用するためには結局大学まで来なければなりません。その点、Zoomは自宅からでも使用できるので、カウンセリングの敷居をまた一つ下げてくれたと思います。もちろんセキュリティの問題や対面と全く同じ体験ではないなどの問題もありますが、それでも今後コロナ禍が収束しても、これまで専門家自身消極的または懐疑的であったZoom等を利用した遠隔相談は確実に発展していくと思われま

す。トラウマの専門家が指摘しているようにコロナ禍はトラウマを引き起こす条件を備えており、この状態が長引いた場合、特に子どもや若者の成長に今後どのような影響を及ぼすのかは楽観視できません。私たちは互いに支えあいながらこの困難な現実を直視して対策を続けていく必要があります。と同時にそこから未来のために何を学べるのかを考えていく段階に来ているのかもしれない。

（令和3年9月末日 記）